

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

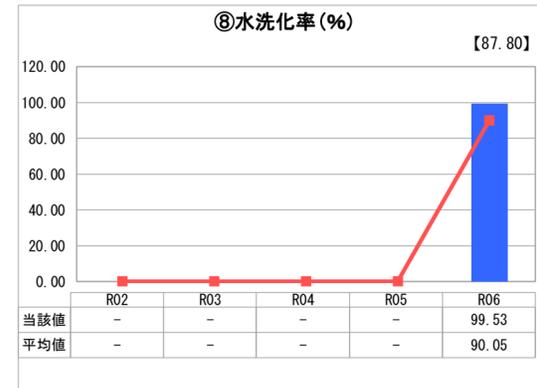
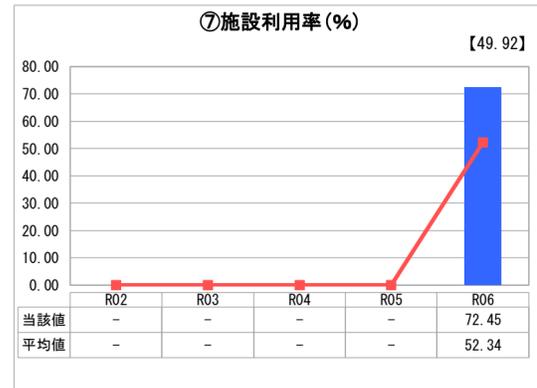
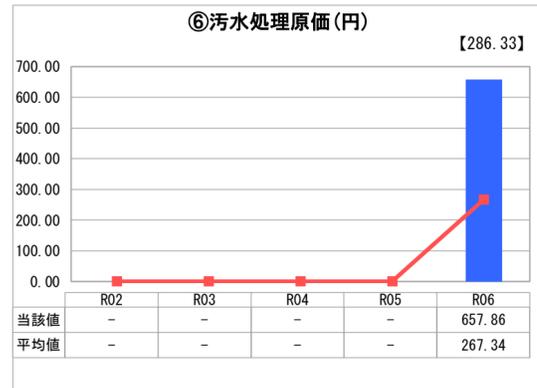
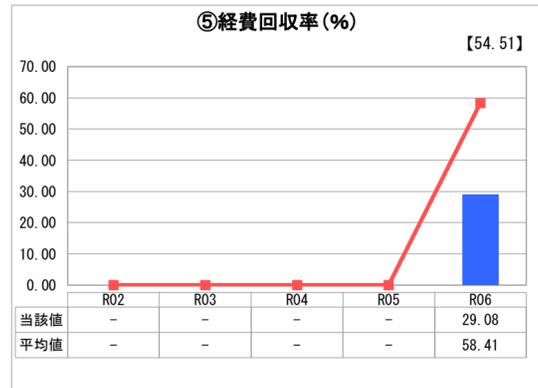
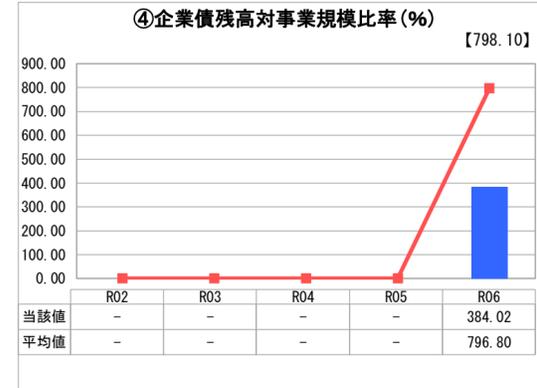
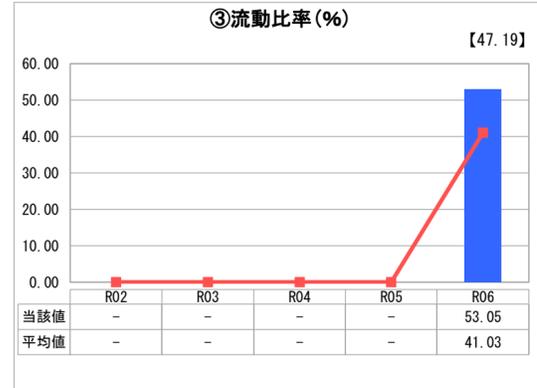
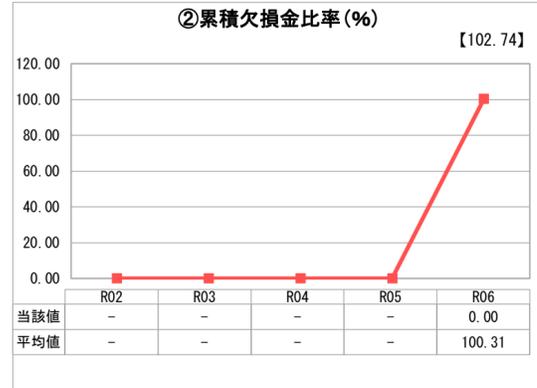
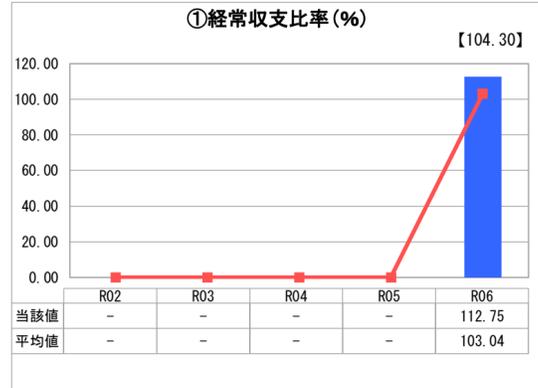
北海道 岩見沢市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	77.58	2.87	57.47	3,477

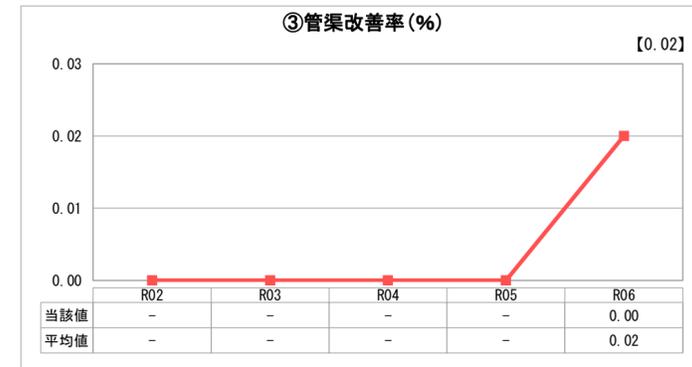
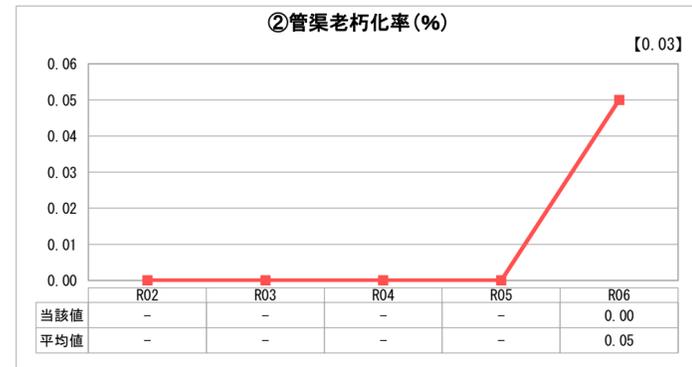
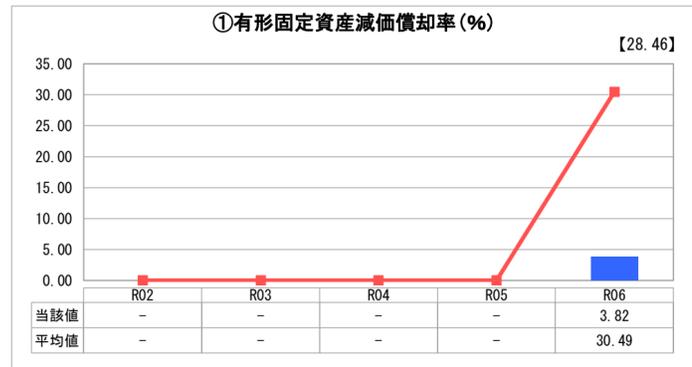
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
74,204	481.02	154.26
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
2,111	1.14	1,851.75

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率は、100%を上回っておりますが、経費（総費用と地方債償還金）を使用料収入では賅うことができず、一般会計からの繰入金で補っています。
- ② 累積欠損金比率は、累積欠損金が発生していないため0%となり、健全な状態にあります。
- ③ 流動比率は、100%を下回っており、一般会計からの繰入金で補っています。
- ④ 企業債残高対事業規模比率は、類似団体平均を下回っています。
- ⑤ 経費回収率は、100%を下回っており、経営に必要な経費を使用料で賅うことができておりません。
- ⑥ 汚水処理原価は、有収水量の減少が続く中、老朽化施設等の維持管理費の増加により、類似団体平均を大きく上回っております。
- ⑦ 施設利用率は、類似団体平均を上回っており、処理場の規模は過大にはなっていないと考えられます。
- ⑧ 水洗化率は、類似団体平均を上回っております。

### 2. 老朽化の状況について

管渠については、法定耐用年数を超えておらず更新には至っておりませんが、軟弱地盤による管渠の変形や不等沈下による劣化が進んでおり、機能診断に基づく計画的な改修更新を行う予定です。  
また、処理施設についても機械設備、電気設備などが法定耐用年数を超えており、計画的に改修更新を行う予定です。

### 全体総括

今後、人口減少等による使用料収入の減少が見込まれる中で、施設の老朽化に対する投資を行なっていく必要があります。  
そのため、岩見沢市下水道事業経営戦略に基づいて、施設の長寿命化を図りつつ、公共下水道との共同処理による効率化も検討しながら、健全かつ安定的な経営が図られるよう努めてまいります。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。